

令和5年度第20回四国地域福祉実践セミナーin 香川・さぬき
開催要項

「オーダーメイドの支援から地域づくりの展開へ」
～地域共生社会を目指したこれからの実践を考える～

【趣旨・目的】

近年、少子高齢化や人口減少が進んでいる中、高齢者世帯や単身世帯の増加により、社会的孤立、80歳代の親とひきこもり状態の50歳代の子どもの生活を支える問題（8050問題）、家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども（ヤングケアラー）、子育てと親の介護を同時に抱えている世帯（ダブルケア）など、人々の暮らしの中での課題は、複雑化、多様化しています。

また、令和元年度から世界中に流行し始めた新型コロナウイルス感染症により、感染防止対策のための『新しい生活様式』を行うことで、人々の移動と接触が制限されるようになり、外出自粛等による経済的な打撃及び物価の高騰等による厳しい環境が続く中、生活基盤が揺らぎ支援が必要な人たちが顕在化した一方で、潜在的に支援の声を出すことが難しい人々も多くいることが想定され、住民に寄り添いながら支援を行うことが必要と考えられています。

そして、国においては、子ども・高齢者・障害者など全ての人々が地域で暮らし、生きがいを共に作り、高め合うことができる地域共生社会実現を目指すこととしています。そのような中で、助け合いと支え合いの仕組みによるネットワークの強化に加え、支える側と支えられる側との関係を越え、お互いが支え合い、つながり合って、住民が主体となった更なる地域福祉の充実と実践に取り組んでいます。

このセミナーは、これらの課題解決力の強化等地域共生社会の実現に向けた新たな地域福祉を実践するために、この四国で取り組んでいる実践者や団体から学び、住民主体の地域づくりについて改めて考えることを目的に開催するものです。

開催期日	令和5年7月15日（土）12時30分（受付11時45分から） から7月16日（日）12時30分まで
会場	さぬき市源内音楽ホール 他 （香川県さぬき市鴨庄 4610-44 Tel：087-894-1000）
主催	第20回四国地域福祉実践セミナー実行委員会
共催	日本地域福祉学会／さぬき市社会福祉協議会／東かがわ市社会福祉協議会／三木町社会福祉協議会／香川県社会福祉協議会／香川おもいやりネットワーク事業さぬき市地域ネットワーク会議／さぬき市いきいきネット連絡協議会
後援 （予定）	香川県、さぬき市、東かがわ市、三木町、日本地域福祉研究所、徳島県社会福祉協議会、愛媛県社会福祉協議会、高知県社会福祉協議会、香川県民生委員児童委員協議会連合会、香川県県内社会福祉協議会連絡協議会、香川県社会福祉法人経営者協議会、香川県老人福祉施設協議会、香川県ソーシャルワーカー協会、香川県社会福祉士会、香川県介護福祉士会、香川県精神保健福祉士協会、香川県医療ソーシャルワーカー協会、香川コミュニティワーク実践研究会
参加費	一般 2,500円 学生 1,000円
定員	350名
参加対象	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉に関心のある住民、ボランティア、NPO ・医療、保健、福祉及び地域福祉に携わる専門職・団体 ・行政、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、社会福祉法人施設等の関係者

【プログラム】

7月15日(土) 12:30~17:15

11:45	12:30	13:00	14:50	15:15	17:15	18:30	20:30
受付	開会 行事	鼎 談	移 動	分科会	移 動	交流会	

7月16日(日) 9:00~12:30

8:30	9:00	10:15	10:30	12:00	12:20	12:30
受付	分科会 報告	休 憩	総括講演	俳句 表彰	閉会 行事	

【内 容】

1 日目【7月15日(土)】

開会行事・鼎 談 (12:30~14:50)

会場：源内音楽ホール

12:30~13:00 開会行事

13:00~14:50 鼎 談

テーマ 「ここで住み続けられるまちづくり」(仮題)

鼎 談

①徳島県 上勝町 町長 花本 靖 氏

②香川県 さぬき市 市長 大山 茂樹 氏

③日本社会事業大学 名誉教授

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所 理事長

公益社団法人 テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏

○ 分科会 (15:15~17:15)

分科会 1	地域の良さを活かした持続可能な地域づくりを目指して
<p>【趣旨】</p> <p>人口減少、少子高齢化等により地域の連帯感が失われ、お互いが支え合う力が弱くなっている中、気候変動、貧困、感染症等私たちを取り巻く課題は、山積しています。</p> <p>このような中、現在を生きる私たちに何ができるでしょうか。住民一人一人が、地域の一員として地域づくりに関与し、個別の顔の見える関係の中で、生活課題や地域課題に取り組むことが求められます。</p> <p>「持続可能な地域づくり」について、皆さんと共に考えます。</p>	
船頭	社会福祉法人 香川県社会福祉協議会 地域福祉部 部長 十河 真子 氏
話題提供者	<p>① 徳島県 社会福祉法人 牟岐町社会福祉協議会 事務局長 栢富 幸子 氏</p> <p>② 愛媛県 社会福祉法人 宇和島市社会福祉協議会 地域福祉課 地域支援係 係長 奥野 佳代 氏</p> <p>③ 香川県 津田地区民生委員児童委員協議会 石塚 恵子 氏</p>
アドバイザー	聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 助教 雑賀 正彦 氏

分科会 2	「こどもまんなか社会」を目指して
<p>【趣旨】</p> <p>「こどもまんなか社会」を目指す「こども家庭庁」が、令和5年4月に創設されました。基本理念に「誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援」が提唱され、全てのこどもが、取り残されることなく、当事者として持続可能な社会の実現に参画することが求められています。</p> <p>当事者視点の政策づくりには、データ・統計を活用し、当事者の意見聴取などの定性的な事実も活用したエビデンスに基づく政策立案をしていかなければなりません。</p> <p>一方で、地方自治体との連携を強化するだけでなく、当事者団体、民間団体、民生委員・児童委員、青少年相談員、保護司等のネットワークの強化を図ることも求められています。</p> <p>現状の子育てから5年、10年後の未来の子育てについてまで、皆さんと共に考えます。</p>	
船頭	社会福祉法人 三木町社会福祉協議会 事務局次長 多川 久美子 氏
話題提供者	<p>① 徳島県 ファミリースペース富田しゅくだいカフェ 代 表 七田 伸也 氏</p> <p>② 高知県 社会福祉法人みその児童福祉会 児童家庭支援センター高知みその 施設長 武樋 保恵 氏</p> <p>③ 愛媛県 今治市 鳥生地域食堂れんこん ボランティア 代 表 橋本 幸子 氏</p> <p>④ 香川県 東かがわ市教育委員会事務局 学校教育課 学校連携コーディネーター 泉谷 俊郎 氏</p>
アドバイザー	<p>社会福祉法人 今治市社会福祉協議会 関前支部長 島崎 義弘 氏</p> <p>四国大学 元教授 (四国地域福祉実践セミナー顧問) 日開野 博 氏</p>

分科会 3	法人間連携の継続的な取組と強みを目指して
<p>【趣旨】</p> <p>社会福祉法人は、地域の多様なニーズに対応するため、社会福祉法人の自主性が尊重される仕組みとなっています。また、積極的な地域貢献活動を行うために、法人経営の在り方が問われています。こうした中、単独の社会福祉法人では対応が困難なニーズや課題に対して、社会福祉施設や社会福祉協議会が相互に連携し、取り組むことが進められています。現在の社会福祉法人が取り巻く環境を理解するとともに、法人間連携のメリットや継続的な連携の必要性について、皆さんと共に考えます。</p>	
船 頭	社会福祉法人 さぬき市社会福祉協議会 地域生活支援課 課長 新開 誠司 氏
話題提供者	<p>① 高知県 社会福祉法人 いの町社会福祉協議会 事務局長 下川 毅士 氏</p> <p>② 徳島県 社会福祉法人 池田博愛会 副部長 岡 千賀子 氏</p> <p>③ 香川県 社会福祉法人 祐正福祉会 又ーベルさんがわ 副施設長 神前 政季 氏</p>
アドバイザー	高知県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 西内 章 氏

分科会 4	個別の支援から地域づくりの一体的な展開を目指して
<p>【趣旨】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日常生活が大きく変化した現在、経済的な困窮者やそれ以外の課題も複数抱えている人たちが少なくありません。このような生活のしづらさを抱えている人を早期に発見し、地域の見守りと包括的な支援策に取り組むとともに、就労の場や参加できる居場所を広げていくことが重要となっています。こうした人たちが繰り返し同じ課題に陥らないように、個別の支援から地域支援につなげるための取組について、皆さんと共に考えます。</p>	
船 頭	社会福祉法人 東かがわ市社会福祉協議会 地域福祉推進係 主任主事 角田 義郎 氏
話題提供者	<p>① 高知県 社会福祉法人 本山町社会福祉協議会 相談支援・権利擁護部 CSW 柴田 奈都香 氏</p> <p>② 香川県 一般社団法人 hito.toco 代表理事 宮武 将大 氏</p> <p>③ さぬきポレポレ農園 代 表 松田 勝 氏</p>
アドバイザー	四国学院大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 石井 洗二 氏

〔各分科会会場〕

- ・源内音楽ホール（さぬき市鴨庄 4610-44 Tel：087-894-1000）
 - ・さぬき市社会福祉協議会志度支所（さぬき市鴨庄 4610-44 Tel：087-894-1542）
 - ・さぬき市役所寒川庁舎（さぬき市寒川町石田東 935 番地 1 Tel：0879-26-9940）
- ※ 分科会会場については、申込状況（会場定員）を考慮した上で、決定します。分科会会場は、参加券をお送りする際にお知らせします。

○ 交流会（18：30～20：30）

会場：トレスタ白山（香川県木田郡三木町下高岡 972-30：087-898-8881）

〈大交流会〉

交流会費 一人 6,000円

※ 交流会終了をもって地域福祉旬会の俳句投句締切りとなります。

2 日目【7月16日（日）】

会場：源内音楽ホール

○ 分科会報告（9：00～10：15）

各分科会からの報告

○ 総括講演（10：30～12：00）

講 師 日本社会事業大学 名誉教授
特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所 理事長
公益社団法人 テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏

○ 俳句表彰（12：00～12：20）

〈地域福祉五七五（地域福祉旬会）の開催について〉

セミナー開催に当たり、恒例の地域福祉旬会を開催します。投句方法等は、セミナー当日に改めてお知らせしますが、皆様の投句をお待ちしています。

○ 閉会行事（12：20～12：30）

大会参加申し込みについて

1. 申込方法

大会専用申込フォーム (<http://www.mwt-mice.com/events/shikoku-jissen2023kagawa>) 及び QR コードからお申し込みください。QR コードからも下記申込受付完了後、確認メールが送られます。1 週間経ってもメールが届かない場合は、名鉄観光サービス株式会社高松支店にお問い合わせください。

2. 申込期間

申込締め切り 2023年6月15日(木) 24時まで



3. 参加費

一般 2,500円 学生 1,000円

4. 参加申し込み入力について

1日目【7月15日(土)】に開催する「分科会」の中から、それぞれ希望する分科会番号を第2希望までご記入ください。なお、定員等の関係で第1希望にご参加いただくことができない場合もありますので、ご了承ください。

■「交流会」欄 1日目【7月15日(土)】

交流会への参加は別途 6,000 円が必要です。記入欄の「参加」「不参加」を○でお選びください。

■「宿泊」欄

ご希望の方のみお申し込みください。宿泊在庫がなくなり次第終了となります。

5. 参加費用について

(1) 参加費用の振り込み

参加費用請求書を送付致しますので、金融機関備え付けの振込用紙により、下記期日までにお振り込みください。

なお、振込手数料は申込者負担でお願い致します。

(2) 申し込み内容の「変更」「追加」「取消」方法について

■申し込んだ内容に「変更」「追加」「取消」が生じた場合は、参加申込書に変更内容をご記入のうえ、お申し出ください。

団体・グループにおかれましては、代表者(担当者)が一括してお申し出ください。

特に、宿泊・交流会の「変更」「取消」は、お早めにご連絡願います。お申し込み後の取消の場合は、下記の通り

「取消料」が発生しますので、あらかじめご了承ください。

なお、「参加費」については、ご返金できませんのでご了承ください。

- 費用の返金については、ご指定の口座にお振り込み致しますので、口座名等をお知らせください。返金に伴う振込手数料につきましては、返金をお申し出になった方の負担とさせていただきます。

【取消料】

	2日前まで	前日	当日	無連絡不参加
宿泊	無料	20%	50%	100%
交流会	無料	20%	50%	100%

詳しくは受付サイト上に添付しております、旅行条件書をご確認くださいませ。

6. 参加申書送付先について

- 名鉄観光サービス株式会社高松支店

〒760-0023 高松市寿町 1-4-3 (高松中央通り 3F) 営業時間 9:30~17:30 (土日祝休)

電話 : 087-822-1621 / FAX : 087-822-1628 担当 : 喜多野

